



# テブダック®の治療による 眼障害予防について

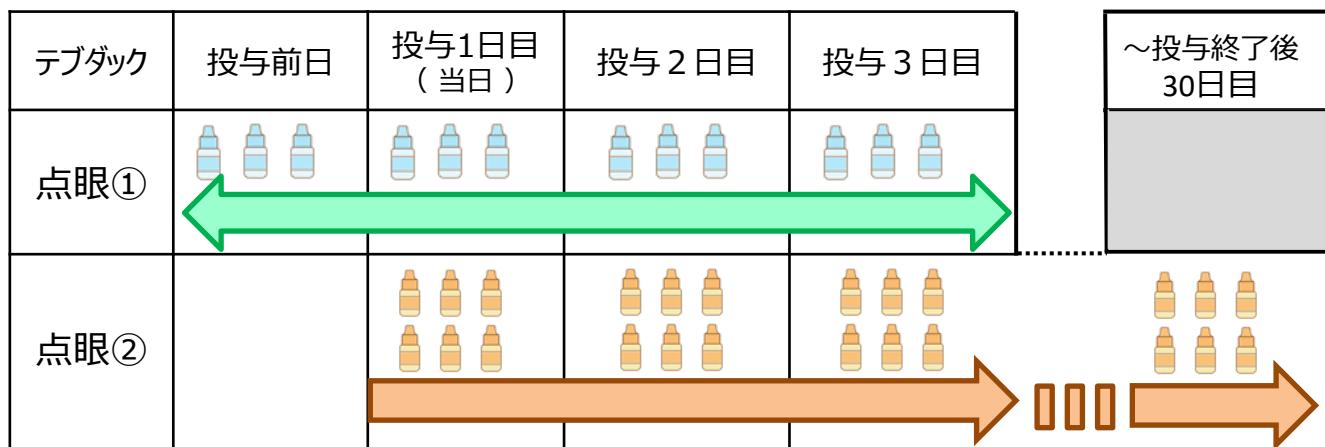


テブダックには、重大な副作用の一つとして、視力低下などの眼障害が報告されています。ここでは、そのような副作用を予防するための方法について説明します。

## 1. 点眼薬について

点眼①：眼の炎症を抑える目薬  
( ヒルコトロン点眼液0.1% )  
**投与前日～3日目まで 4日間**  
両目に1日3回  
( 朝・昼・夕 )

点眼②：眼の乾きを抑える目薬  
( ヒアルロン酸ナトリウム点眼液0.1% )  
**投与 1日目～治療中は継続する**  
両目に1日6回  
( 6時・9時・12時・15時・18時・21時 )



## 2. 注意事項について

- テブダックの治療期間中はコンタクトレンズの装着は避けてください。
- 治療中止になっても、30日間は点眼②を続けてください。また、この期間もコンタクトレンズを使用しないでください。
- 治療中、以下のようないくつかの症状がある場合は、速やかに病院に連絡しましょう。

- |                                     |                                   |
|-------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 目の充血       | <input type="checkbox"/> 異物感      |
| <input type="checkbox"/> 目のかすみ      | <input type="checkbox"/> 目やにの増加   |
| <input type="checkbox"/> 異常にまぶしく感じる | <input type="checkbox"/> 目のかゆみ    |
| <input type="checkbox"/> 目の痛み       | <input type="checkbox"/> 見えづらく感じる |

## 3. テブダック投与当日に持参するもの

- 処方された目薬  
(点眼①・点眼②)
- 薄手のハンカチかガーゼ  
(冷却パックを包むため)

※冷却パックは通院治療センターで  
準備します

テブダック投与当日は  
眼の冷却と血管を収縮させる点眼を行います。  
**冷却時間：テブダック投与開始5分前  
～終了後30分まで**  
**血管を収縮させる点眼：テブダック投与直前**





# 目薬のさし方



## 点眼方法

手順1．石けんを使って手を洗う



手順2．点眼する



① 天井を見るように首を後ろに傾ける

※首を後ろに傾けることがつらければ、寝転んでさしてみる

② 下まぶたを指で軽く引く

③ 黒目に向かって、目薬を1滴落とす

！うまく点眼できないときは、【げんこつ法】を試してみる！

① げんこつを下まぶたにあて、軽く下に引く。

② げんこつに目薬を持つ手をのせ、1滴落とす

※目薬の先がまつ毛やまぶた、目に触れないように注意しましょう

手順3．点眼後、まばたきはせず、軽く目を閉じる



手順4．あふれた薬液は軽くティッシュで拭き取る

手順5．薬液が鼻やのどに流れないように

1分程度目頭を軽く押さえる



手順6．2種類以上の目薬をさす場合は

5分以上間隔をあける

開封後の使用期限は、1か月が目安です

使いかけは破棄してください

(容器に記載されている使用期限は開封前の期限です)

